

1-53

地域資源である牛ふん、食品副産物等をフル活用した
ぼかし肥料（恵那北トマト生産組合 加子母トマト生産組合）

○

加子母トマト生産組合は地域資源をフル活用した「かしもぼかしプレミアム」を製造し、恵那北ト
マト生産組合がこれを利用することで、肥料コスト低減及び持続可能な農業生産を目指すとともに、
ブランドトマト「かしもトマト」のPRポイントとしている。

■国内資源の種類

- ・牛ふん
- ・天草粕
- ・麦芽粕
- ・米ぬか
- ・木炭

等

■肥料の種類・肥料名称

種類：特殊肥料
肥料名：かしもぼかしプレミアム

■取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

- ・加子母トマト生産組合は平成2年にぼかし肥料である「かしもぼかし」の製造を開
始。管内のトマト圃場では、慢性的なリン酸、石灰過剰であり、これに対応するた
め令和5年にリン酸を減少させた「かしもぼかしプレミアム」を開発・製造。

取組の内容

- ・加子母の畜産農家の牛ふんをはじめ、周辺地域の寒天工場、地ビール醸造所、米農
家等の副産物を利用しており地域資源利用率は75.6%。持続可能な農業生産及び
地域資源の利用に貢献。

成果（見込み）

- ・栽培実証の結果、初期収量の増加、細根の増加、初期樹勢
の良好を確認。
- ・地域資源利用率を75.6%にしたことで肥料製造コストが
大幅に低減。



堆肥場の様子

■作物

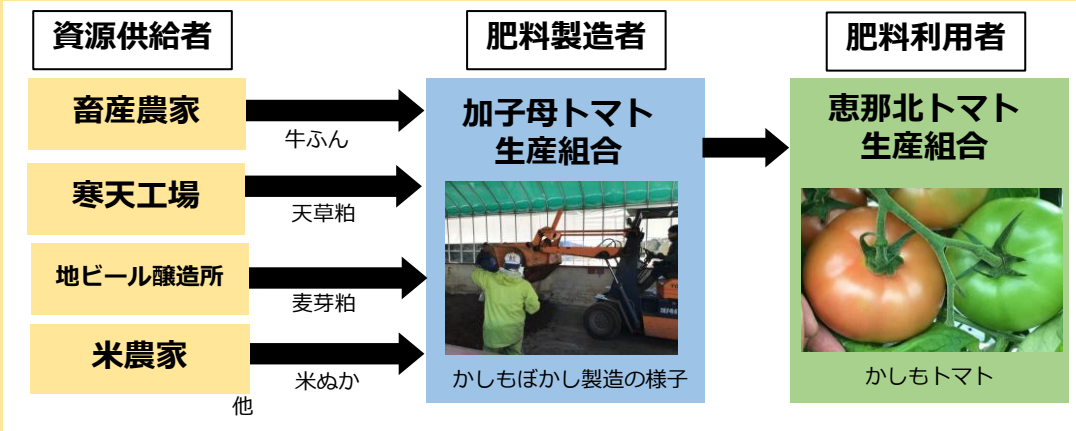
- ・トマト

■主成分の含有量（%）・特徴等

N	P	K
1.3	1.8	1.7

- ・地域資源利用率75.6%
(国内資源利用率100%)

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

- ・現在の課題は肥料原料の確保。肥料の製造は冬季のみであり、
必要な時期に必要な量の原料を確保するのが難しい。
- ・国内肥料資源利用拡大対策事業を用いて新たに袋詰め機を導入し、より広域な肥料供給を目指す。
- ・「かしもぼかしプレミアム」の使用を
地域資源の有効活用及び持続可能な農
業生産の取組として、恵那北トマト生
産組合のブランドトマトである「かし
もトマト」のPRポイントとしている。

